

Windows 2000でハードディスクをフォーマットする手順

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ここでは、Windows 2000で買って来たばかりの弊社製 ハードディスクをベーシックディスクとして使用する場合について、フォーマットする手順を説明しています。

「ベーシックディスク」とは従来と同じハードディスクの使用方で、Windows98/95などでご使用いただけます。

これに加え、Windows 2000では、「ダイナミックディスク」と呼ばれる新しい使用方法が追加されています。「ダイナミックディスク」としてハードディスクをご使用いただくと新たに追加された新機能を利用できますが、Windows98/95などの以前のOSでそのハードディスクをご使用いただけません。

詳細は、Windows 2000の取扱説明書、またはオンラインヘルプをご覧ください。

パーティションとは

本ハードディスクに限らず、通常1台のハードディスクは、全容量を1つ以上のいくつかの領域に分割して使用することができます。

この領域がパーティション（区画領域）です。

パーティションを作成しないとハードディスクを使用できません。

分割したパーティション毎にドライブ文字（ドライブ名）（C、Dなど）が割り当てられるため、1台のハードディスクを複数台のドライブがあるかのように利用できます。

例1）本製品の全容量を1つのパーティションで使用する場合
本製品のドライブ文字は1つ割り当てられます。

例2）本製品を3つのパーティションで使用する場合
本製品のドライブ文字は3つ割り当てられます。

パーティションの種類

パーティションには以下の2つがあります。

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンでお使いの場合

・プライマリパーティション

「プライマリパーティション」は4つまで作ることができます。

・拡張パーティション

「拡張パーティション」は1つ作ることができます。

「拡張パーティション」内に、プライマリパーティションと同じように使える論理ドライブを複数作ることができます。

論理ドライブを複数作ることにより、ハードディスクを4つ以上に分けることができます。

PC-9800シリーズでお使いの場合

・プライマリパーティション

「プライマリパーティション」を4つ以上作ることができます。ただし、他のOSでお使いになる場合には、5つ以上作らないでください。

・拡張パーティション

PC-9800シリーズでは作ることはできません。

パーティションを作る際の制限について

作成するファイルシステムによって「1つのパーティションの最大容量」に制限があります。

ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
FAT32	1つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。 ただし、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。
FAT16	Windows 98/95, Windows 3.1, MS-DOSなどで使用できます。 ただし、1つのパーティションあたりの最大容量は、「2047Mバイト」です。
NTFS	1つのパーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows98/95などのNTFSに対応していないOSではアクセスできません。

FAT32使用時の注意

- 1) FAT32、NTFSファイルシステムに対応していないディスクユーティリティを、FAT32、NTFSで作成したパーティションに対して使用しないでください。
- 3) FAT32、NTFSに対応していないOSと併用する場合は、併用するOSでパーティションを作成してください。

ディスクの署名

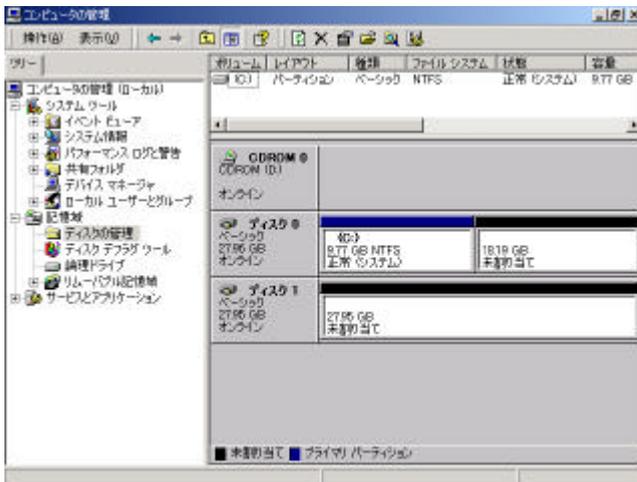
Windows 2000でハードディスクを使用するには、ディスクに署名を行う必要があります。

1 「コンピュータの管理」を起動します。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [管理ツール]
[コンピュータの管理] を起動します。

2 [ディスクの管理] をクリックします。

[記憶域] [ディスクの管理] をクリックします。



3 「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。

「ディスクのアップ
グレードと
署名ウィザード」が
表示されない

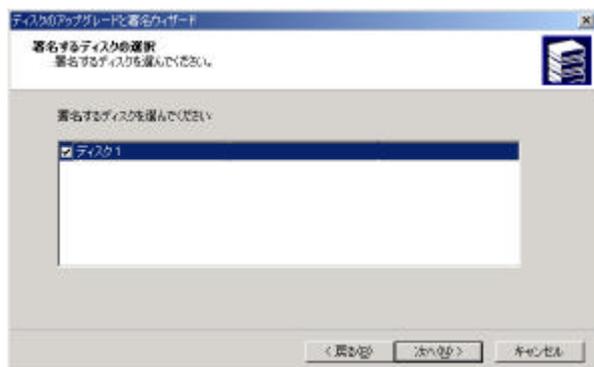
表示されない設定になっています。
署名したいハードディスクを
右クリックし、表示された[署名]
をクリックしてください。

すべてのハードディスクは署名され
ています。【パーティションの作成
とフォーマット】(6ページ)に
お進みください。

4 [次へ] ボタンをクリックします。



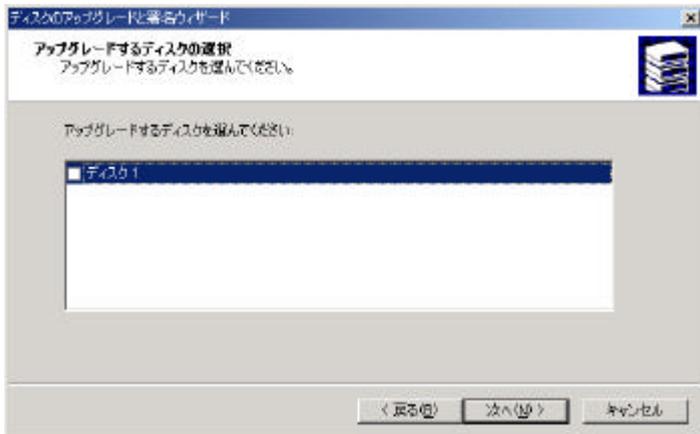
5 署名するディスクを選び、[次へ] ボタンをクリックします。



署名を行わないと、ハードディスクは使用できません。
必ず署名を行ってください。

6 アップグレードするディスクの選択にはチェックを付けずに、 [次へ] ボタンをクリックします。

全てのチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックします。

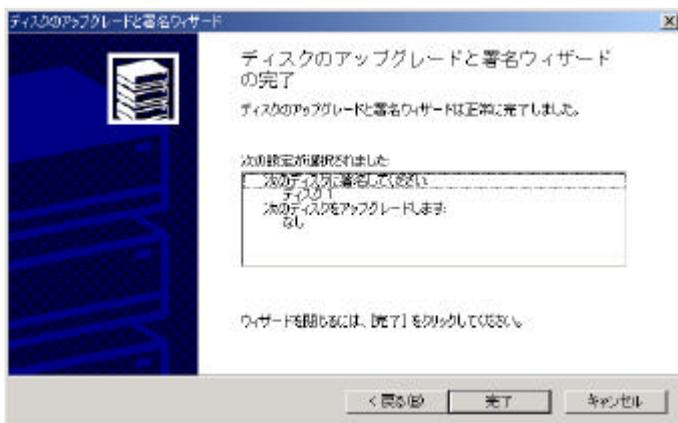


アップグレードを行ったディスクは、「ダイナミックディスク」となります。「ダイナミックディスク」は、Windows98/95などで使うことができません。「ダイナミックディスク」についての詳細は、Windows 2000の取扱説明書、またはオンラインヘルプをご覧ください。アップグレードせずに作成したディスクは「ベーシックディスク」になります。

7 表示された設定を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

選択した設定が正しいことを確認して[完了] ボタンをクリックします。

署名が行われます。



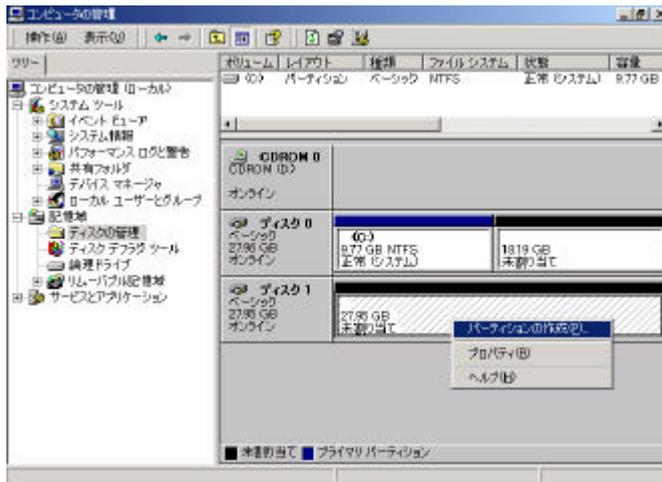
次ページの【パーティションの作成とフォーマット】にお進みください。

パーティションの作成とフォーマット

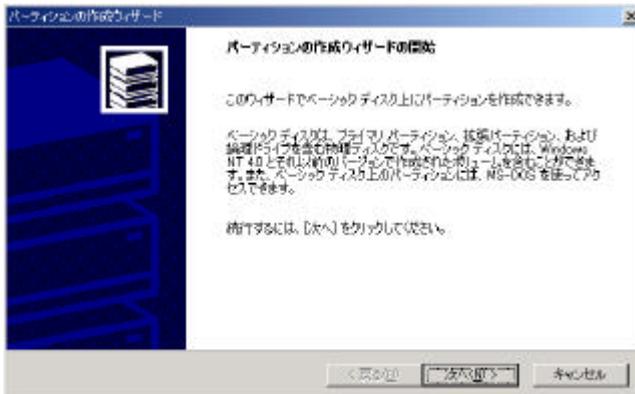
1 「パーティションの作成ウィザード」を起動します。

フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックし、表示された [パーティションの作成] をクリックします。

「パーティションの作成ウィザード」が起動します。



2 [次へ] ボタンをクリックします。

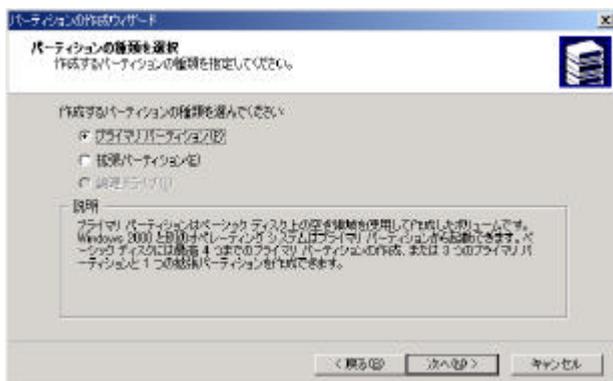


3 パーティションの種類を選び、[次へ] ボタンをクリックします。

作成するパーティションの種類を選びます。

パーティションについては下に表示されている説明をご覧ください。

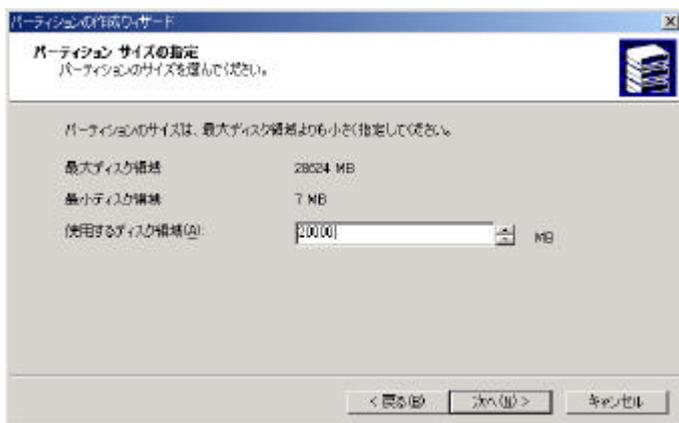
その後、[次へ] ボタンをクリックします。



4 パーティション容量を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

この後、プライマリパーティションを作成した場合は5へ、

拡張パーティションを作成した場合は7へ進みます。

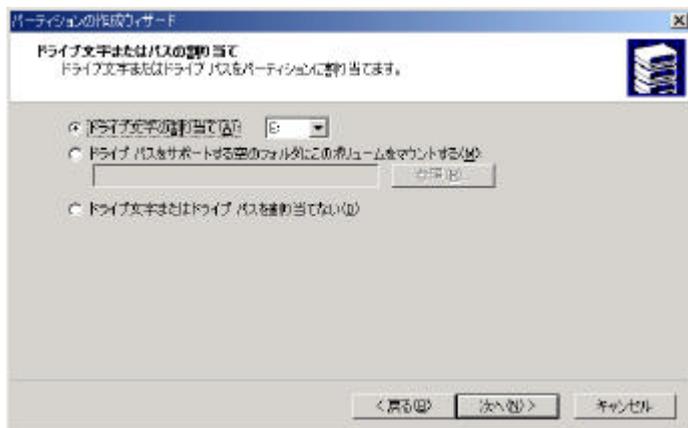


この後、手順7でファイルシステムに「FAT」を選択しようとしている場合は、2047M/バイトまでの容量に設定してください。

5 ドライブ文字を割り当てて、[次へ] ボタンをクリックします。

[ドライブ文字の割り当て] を選択します。

その後、[次へ] ボタンをクリックします。



[ドライブ文字の割り当て] だけでなく、[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] も選択することが可能です。
[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] についての詳細は、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

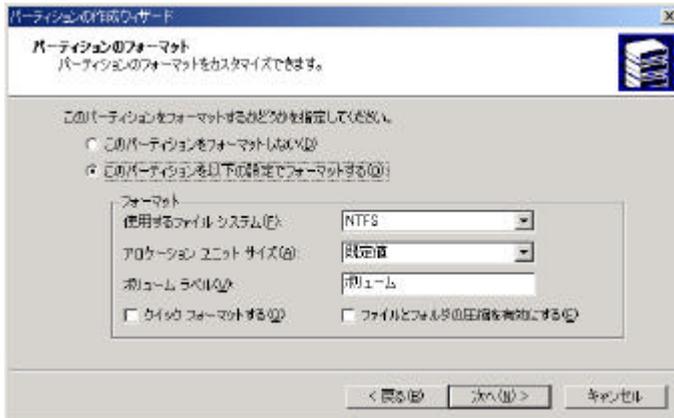
6 フォーマットするように指定します。

[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] を選択します。

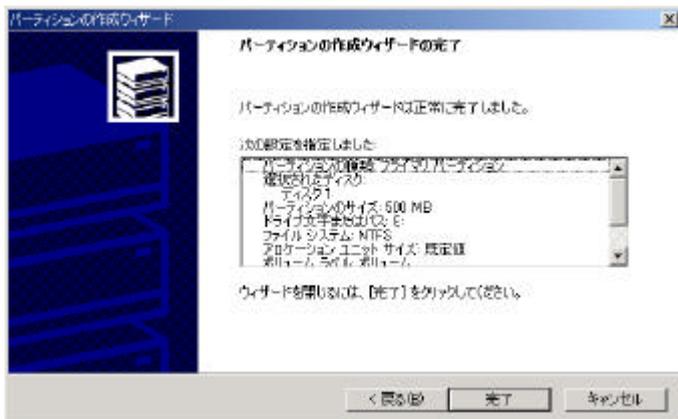
ファイルシステムの設定を行います。

フォーマットの中にある「使用するファイルシステム」項目を設定します。
他の項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

[次へ] ボタンをクリックします。



7 表示された設定内容を確認して [完了] ボタンをクリックします。



プライマリパーティションを選択した場合は、このままお使いください。

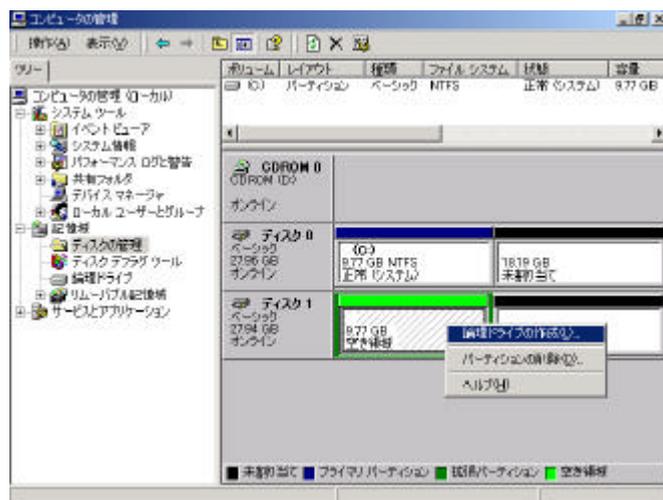
「マイコンピュータ」にハードディスクアイコンが表示されます。

そのハードディスクを今後フォーマットする際は、「マイコンピュータ」でアイコンを右クリックし、表示された [フォーマット] を選択するだけでフォーマットできます。

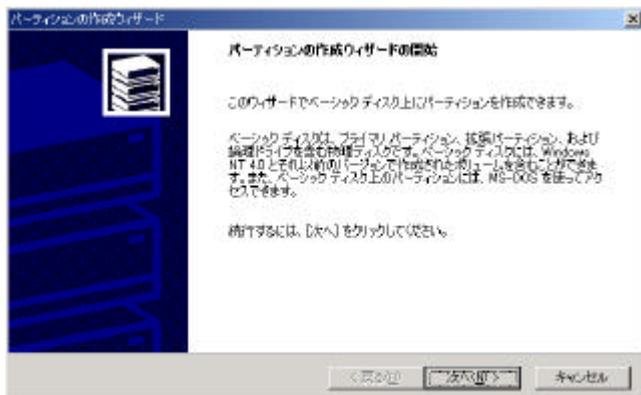
拡張パーティションを選択した場合は、次のページの【論理ドライブの作成】を行ってください。

論理ドライブの作成

- 1 拡張パーティションの空き領域に論理ドライブを作成します。
論理ドライブを作成する拡張領域を右クリックし、表示された [論理ドライブの作成] をクリックします。

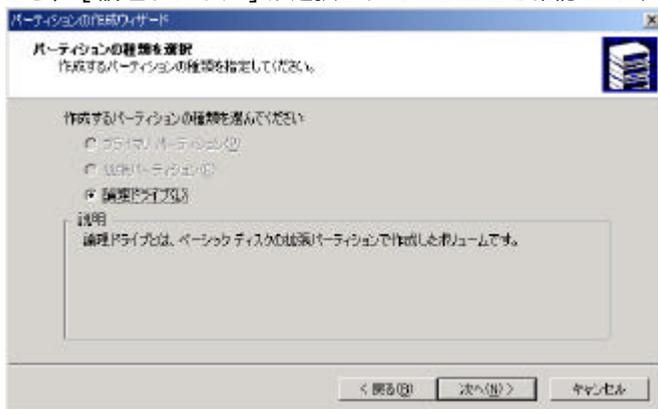


- 2 [次へ] ボタンをクリックします。

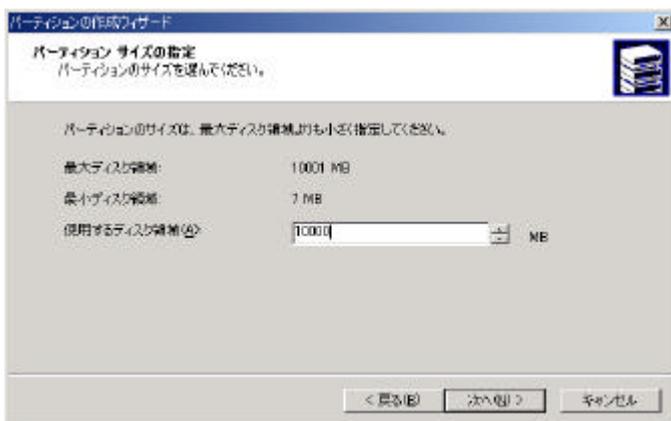


3 [次へ] ボタンをクリックします。

このとき、[論理ドライブ]が選択されていることを確認してください。



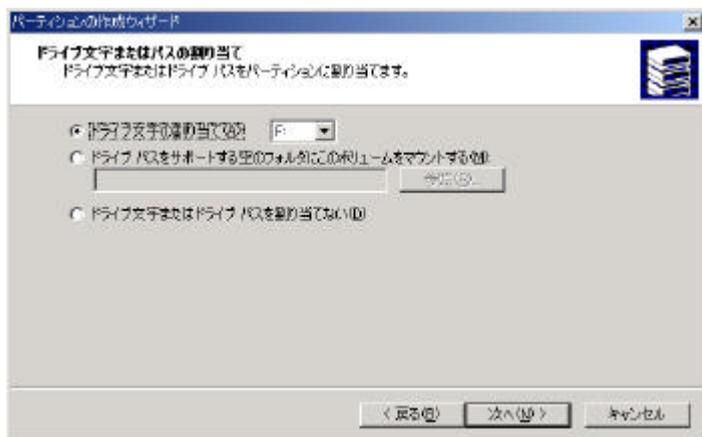
4 パーティション容量を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



この後、手順6でファイルシステムに「FAT」を選択しようとしている場合は、約2047Mバイトまでの容量に設定してください。

5 ドライブ文字を割り当てて、[次へ] ボタンをクリックします。

[ドライブ文字の割り当て] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



[ドライブ文字の割り当て] だけでなく、[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] も選択することが可能です。
[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] についての詳細は、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

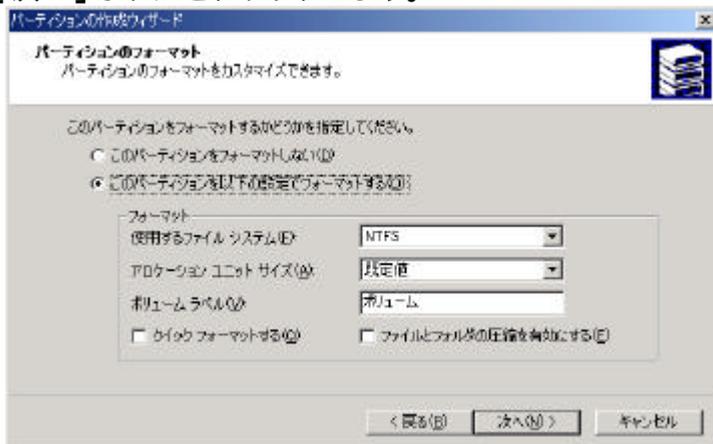
6 フォーマットするように指定します。

[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] を選択します。

ファイルシステムの設定を行います。

フォーマットの中にある「使用するファイルシステム」項目を設定します。
他の項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

[次へ] ボタンをクリックします。



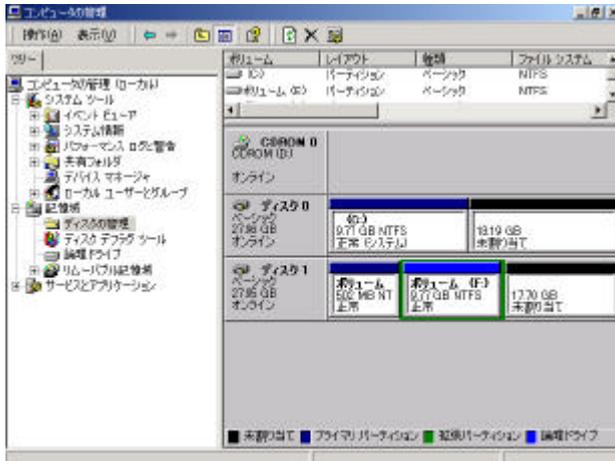
7 表示された設定内容を確認して [完了] ボタンをクリックします。



以上で論理ドライブの作成は終了です。

以下の例のように作成されているはずですが、

(未割り当て領域については、同様に論理ドライブを作成します。)



Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professionalの略称として表記しています。